

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（令和元年7月号）

令和元年7月1日

遅い梅雨に入ったばかり。しばらくは耐えて生きのびるほかないようです。さて、今月のボランティア活動のご案内です。小雨実行ですが、梅雨晴れ間を祈りましょう。

初めての方、久しぶりの方、いつもの方、みなさん歓迎です。

7月7（日）

08:30～10:00 夏花に植え替えたばかりの南口電停脇「みんなの庭」の手入れをいたします。

14:30～15:30 中央公園前の帯屋町筋で、葛岡さんによるギターライブの傍らチラシを配ります。

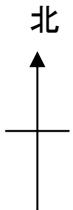
<8月の共同活動は夏休み、9月は15日（日）の予定です>

6月のトピックス

○6月8日午前、「みんなの庭」の洋花ゾーン（右図のピンクの部分）の冬花を夏～秋花に植え替えました。高知市からご提供いただいたマリーゴールド、メランポ、トレニア、ペンタスなど計200株を植えました（下の写真左端）。写真右上の緑が生い茂った場所（図では緑色の部分）は和花ゾーンで、主に多年草ですから植え替えの必要がありません。

なお、和花ゾーンの草花類が最近誰かにごっそり引き抜かれて無残にも土が露出してしまいました。善意の草取りのつもりだったらしいのですが、「雑草と言う植物はない。それぞれ名前がある」という愛の言葉（牧野富太郎博士）を憶い出します。

下の写真中央はユリとアジサイ。右端はソバの花（和花ゾーン風景）



（次ページに続く）

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサン 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える（31）

和の庭と洋の庭

— 「いい景色」とは？（その1） —

「森の中の高知駅」は駅の周りに緑を増やそうと、有志が集って木を植え草花を植え、緑地や花庭を育ててまいりました。ふるさとの街に「いい景色」が少しでも増えればとの思いからです。ここで立ち止まって、「いい景色」とは何か・・・考えてみたいと思います。

まずは、「庭」を例にとってみましょう。ご存じの通り、庭には明治時代に取り入れられた「洋」の庭と、わが国の風土になじんだ「和」の庭とがあります。

下（左）の写真は東京の新宿御苑の見どころのひとつ「整形式庭園」。左右対称に整った典型的な西洋式庭園です。右側の写真は明治の元老山縣有朋の旧別邸 京都の「無鄰菴（むりんあん）庭園」です。較べてみると、人工美と自然美、洋と和、陽と陰の違いが鮮明です。

和の庭は一朝一夕では作れませんので、花の博覧会などでの展示は即席の洋花が主流となっています。



高知駅南口電停脇の「みんなの庭」は、面積の半分ほどを落ち着いた和風（杜鵑ほととぎす、都忘れ、水引、十二単、百合、桔梗、紫蘭など多年生の和花を混植）、残り半分を華やかな洋風（マリーゴールド、ペンタス、トレニアなど季節限定の洋花を整然と植える）にしたつもりです。

一方、南口旅広場駐車場西脇の緑地（上に再掲載）は、高木の列柱にトサミズキ、イロハモミジ、ヤブツバキ、ガマズミなど低木を配し、下草としていろんな和花を植えました。多様な植生、より自然に見える風景が日本人の目には懐かしく心地よいのではないかとの発想です。

和の草木を一目見て「なんだ、雑草だらけか」などとおっしゃらず、地味な和庭の良さも味わっていただければ幸いです。



旅広場駐車場脇の緑地（多様性）



手前は洋、奥は和のゾーン
（南口「みんなの庭」）



「みんなの庭」和のゾーンの花